

進めています。旭区・横浜の未来！



前横浜市会議長 自民党 旭区 鶴ヶ峰 版 佐藤 茂の政策レポート

プロフィール

- 昭和30年2月13日生
- 関東学院大学文学部卒
- 元経済企画庁長官 佐藤一郎秘書
- 平成3年横浜市会議員初当選
(以降連続七回当選)
- 京浜港広域連携推進議員連盟会長
- 自民党横浜市支部連合会幹事長
- 自民党横浜市議員団团长
- 高齢福祉あさひまごころの会顧問
- 横浜旭ベースボールクラブ名誉会長
- ボーイスカウトクラブ横浜107団顧問
- 社会福祉法人恵泉会理事長
- 第45代横浜市議長
- 横浜市監査委員

鶴ヶ峰をもっともっと便利にしたい！ 高齢者にも子育てにもやさしい街づくりを進めています。



環境を一変させた区役所までの緑道

鶴ヶ峰地域の皆さん、市議員の佐藤茂です。

皆様のご支援のおかげをもちまして、誇りと伝統ある第45代横浜市議長の要職を勤め、新たなる大都市制度の確立に力を注ぎ、近い将来横浜が大きく発展する礎を築かせて頂きました。

私は、地域の皆さんの信頼に応えるため、地元選出議員として鶴ヶ峰連合町内会・鶴ヶ峰地区社会福祉協議会・鶴ヶ峰商店街協同組合(それぞれの団体の)顧問の重責を委嘱され、鶴ヶ峰地域のより暮らしやすい環境を整える為、今までに多くの事業を推進し、地域の発展に努めて参りました。



鶴ヶ峰地域を生活拠点とされる皆さんが、より生活しやすくなるようにとの思いで、地域の皆さんの要望を一つでも多く具現化できるよう努力してまいりました。



佐藤茂が進めてきた『鶴ヶ峰地区』の街づくり!!

1. 鶴ヶ峰地域ケアプラザ開所!

鶴ヶ峰地域の多くの皆さんから、長きにわたり強い要望のあったケアプラザ。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、これからも支援していきます。



2. 鶴ヶ峰駅南口周辺の再開発

大きく立ち遅れていた駅南側に、駅前交通広場や駅周辺地区の連絡道路を整備するなどして再開発を行いました。住民の暮らしやすさは倍増し、利便性の向上を実現できました。

3. 環境を一変させた区役所までの緑道

区役所に至るまでの道路周辺環境を一変させた緑道整備を始め、親水公園や、多くの公園の安全面を考えた整備。

4. 河川を改修し、路面を補修

帷子川の旧河川を緑の遊歩道に整備し、風情ある景色を楽しめるようにしました。また、狭い道路の拡幅をはじめとした数多くの路面補修に尽力いたしました。

5. 高齢者や障害者に優しいまち

南口の再開発により、駅舎のバリアフリーやエレベーター設置を実現。鑑の渡し緑道には、車いす用スロープを設けるなど、誰もが安心して暮らせるように配慮いたしました。

6. 鶴ヶ峰商店街駐車場の整備

相模鉄道に理解を求め、近接の土地所有者にも協力を得て、商店街で買物をしやすいように商店街専用の駐車場を整備しました。地域活性化にもつながり、街がますます元気になりました。



子育てを応援します!

鶴ヶ峰地域の待機児童を解消へ!! 地域の子育て支援の充実に力を入れてきた一助として、 駅周辺に、3カ所の保育園を整備しました。

駅周辺に遊休地を持つ土地所有者の理解を得るとともに、保育所づくりの所管局である「こども青少年局」に働きかけ、平成24年～平成26年にかけて、新しく3カ所の保育所を整備。鶴ヶ峰駅を生活拠点とされる方々が便利になるように、子育てしやすい環境を整えました。働くお母さんを、しっかりサポートいたします。



写真は2012年6月に設立された認可保育の「あゆみ保育園」。受入年齢は2ヶ月～5歳。子育てと仕事との両立を応援する保育園があると、お母さんは安心です。



私は、これからも住みやすく、暮らしやすい鶴ヶ峰地域発展のため、皆さんの声に耳を傾けて努力していきます。地域に根ざした政治家として街の課題に取り組んで参ります。皆様には是非、市政へのご意見、ご要望をお聞かせください。

米 Apple、横浜に拠点！

アップル社を横浜(みなとみらい)に誘致する事が出来ました。

私は市会議長在職中、林市長と共に公式行事でワシントンやサンディエゴを訪問した際、米国のIT企業等を中心にシティセールスに力を入れ、企業誘致に力を注ぎました。そして、この度、菅官房長官、安倍首相のお力添えにより、横浜に(我が国を代表するトヨタ自動車の時価総額の4倍ほどの時価総額84兆円の携帯電話のアップル)世界で一番株式時価総額が大きな企業アップルの、アジアでの研究開発拠点がみなとみらい地区に誘致できました。

今後も、関連企業の誘致が進むように、様々なインセンティブを提案し、横浜経済の発展に努めて参ります。



▲対日投資に関心のあるサンディエゴ市及びその周辺の約50社の米国企業、約20社の主要経済団体に対して横浜の魅力プレゼン。



国と市とで連携を図りました。

三港の議員連盟会長として、横浜港の発展と市内経済の活性化に尽力!!

京浜三港連携は、我が国の主要港の国際競争力が低下し、国際海運ネットワークから外れてしまうとの危機感を共有した上で、横浜港を初めとする(東京港、川崎港)京浜三港を一体的に運営し、競争力を高めようとする構想を実現する為、3都市の議会で議員連盟を設立し、国土交通大臣等に強く働きかけ、国策として支援する国際コンテナ戦略港湾として国の認定を受け、国際競争力向上の為、国が整備促進の財政支援を積極的に行なう事などの約束を取り付ける事ができました。

横浜の港湾事業は、市内経済の3割に当たります。港の発展は横浜の発展に欠かせません。横浜港を中心とする京浜三港をハブポートとして確立させ、横浜経済の発展へと繋げて参ります。



政令指定都市議長会のリーダーとして、議論を度重ね、新たな大都市制度確立に向け礎を築きあげました。

横浜は我が国最大の政令指定都市、国の成長エンジンとして発展し、日本経済を牽引していかなければなりません。国際的な企業の誘致や、重要な国際会議の開催等、国内外から、多くの人々が集まる魅力あふれる都市として成長する事が、我が国の成長の下支えとなります。その為には、横浜市民が納めている国税や県民税の70%前後が、他の小規模自治体の運営に対し交付されている実状を是正し、横浜市が我が国の成長エンジンとして発展しやすい環境を整えなければなりません。

国や県から重複している権限の移譲と、合わせてその権限に見合った財源の移譲を進め、諸外国が大都市を発展させている事例に習い、国や県から制約を受けない財源を横浜市に確保させるような大胆な大都市制度を確立する、特別自治市の制度を提案しました。政令指定都市の議長会では、大阪市と堺市の議長を除く全ての議長から賛同を得て、私がリーダーとなり、当時の総務大臣始め主要政党の政策責任者、菅官房長官、そして安倍首相に新たな大都市制度の必要性を懇願させて頂き、横浜の発展の礎を築きあげました。



自民党 佐藤 茂の基本政策6項

1 横浜経済の活性化と雇用の安定



アップル社を誘致することができたように、企業誘致を積極的に進め、中小企業基本条例を活用し、市内経済の活性化をはかります。また、働く意欲を持つ高齢者がいつまでも働くことができるような社会づくりに努めます。

2 安心して子育てできる旭区に



保育所待機児童の解消は優先課題です。産み易く育てやすい環境を整える為の課題解決に向けて、諸施策を総動員する事、そして、必要に応じ条例を制定し、支援策を充実させていきます。

3 環状鉄道 市営地下鉄4号線を中山から二俣川へ延伸!



推進議員連盟会長として奮闘!
旭区の連合町内会長を始め、旭区のみならず多くの市民の皆さんから強い要望がある環状鉄道の延伸ですが、関わる行政区の超党派の推進議員連盟の会長として、林横浜市長を始め、管内閣官房長官に対しても強く要望し、実現に向け最大限の努力をしています。

4 財政健全化に努めています



私は自民党市議団団長在任中、議会主導の事業仕分けを行い、市民参加の公の場で、税金の無駄遣いに斬り込みました。その結果幾多の無駄な事業は廃止させ、民間に移譲出来る事は任せ、市が継続して行う事業でも改善を要求し、財政健全化の道筋をつけました。その後、昨年自民党主導で財政健全化条例を制定し、首長が甘い予算計画をしないよう歯止めをかけていますし、私も厳しく見ていきます。

5 「相鉄・JR・東急」直通化、東部方面線の推進



東部方面線の推進を現菅官房長官と力を合わせて進めて参りました。相鉄・JR直通化は、平成30年度内。東急直通化は、平成31年4月開通予定です。新宿・渋谷へ乗り換えなし。鶴ヶ峰から新横浜へ行くのに10分で、大変便利になります。遅滞なくこの直通化事業が行われるよう、周辺整備に尽力しています。

6 高齢者介護質の向上へ



高齢者が生き生きと健康で暮らす事が重要です。そして、介護が必要になっても、住み慣れた家庭で暮らすことができるように、気軽に受け入れてくれる短期入所の施設整備や、訪問医療や看護が行き届く社会づくりを目指し、政策提言を進めています。